

(学) 長橋学園 杉田幼稚園の「令和4年度 自己評価及び学校関係者評価」結果

令和5年3月10日

(学)長橋学園 杉田幼稚園

1、幼稚園(杉田幼稚園)の教育目標

教育基本法及び学校教育法を基本として、幼稚園教育(幼児教育)を推進し、豊かな心を持つ人を育成することを目的とし、次の教育目標を定める。

教育目標：「明るく 元気に 頑張る子」

- ・物を大切にする子
- ・思いやりのある子
- ・お友だちとたくさん遊ぶ子
- ・お話をよく聞くことができる子
- ・思ったことがはっきり言える子
- ・考える力のある子

2、令和4年度の事業計画及び重点目標

事業計画～「緑いっぱい自然の中で、元気な子が育つ学園」として教育活動の推進

- ① 「有徳の人」づくりに向け、園児一人一人を大切に、生き生きと活動できる場の設定及び新型コロナウイルス感染症の感染防止・災害対策等の危機管理の徹底と安全な環境づくりへの努力
 - ② 園児達の発達段階に応じた援助に努め、”生きる力”の基礎を培うため、園児達のモノづくり体験の実践
 - ③ 思いの伝え合いの場づくりを目指し、規範意識の芽生えを育む活動ができる教育課程の工夫
 - ④ 小学校への接続が円滑にできるよう、近隣園や保護者・地域と共感し合い、教育機関等との連携強化
- 以上の事項を重点として、教育内容のさらなる向上に努める。

3、評価項目の達成及び取組状況

A:十分達成されている B:達成されている C:取組まれているが、成果が十分でない D:取組みが不十分である

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	結果	内容・理由等	結果	内容・理由等
1、保育内容 (1) 保育の計画性	A	園の教育理念や方針を基に、園全体・各学年・クラスの保育計画(年間・月間・週案)を樹て、園児の目線で、その発達に適す保育に努めた。 また、時代の変化を見極め、危機意識を以って、次への新たなステップに進めるようしている。 コロナウイルス感染防止に対応すべく、環境構成や行事の工夫を施し、保育計画を改善することができた。	A	今年度も2学期後半までは、コロナ感染が収まらず学級閉鎖等あり、厳しい環境になったが、教職員がその実態を的確に捉え、教育活動を計画的に執行している。特に、日・週案やその反省を園長・副園長等が目を通し、評価・助言等を行っている旨を伺い、園全員が一つになって教育活動や学園行事に当たっている状況に敬意を表する。 また、本年度は、教員の結婚・出産等もあり、新任教員もクラス担当に携わり、子どもたちの発達に合わせた環境構成を取り入れ、自らが率先して園運営への協力をする姿勢が自己評価荷も現れており、園運営が円滑に進められた。
(2) 保育のあり方・幼児への対応	B	在園児達の個々の特質などを各教員で共有し合い、保護者からも随時的、的確な情報を頂き、バス事故や園内事故が起こらないよう日々の生活を通じ安心な場づくりを心掛けた。 さらに、コロナ対応として園児達の不安解消に努めるとともに、預かり保育や		園児達のさらなる成長に向け、保護者の信頼を受けて、子供の目線に立って教

		<p>要配慮児への取組等も強化して行くことを教職員会議で徹底した。</p>		<p>育活動や生活指導を今後も進められるよう努めて欲しい。バス事故等への危機管理も十分であり、さらに要保護児の教育なども大変だが、教員各位も自信を持って指導に当たられたい。</p>
2、保育者としての資質・能力	A	<p>新人教員が複数入り、教員同士がその立場、役割を理解し合い、対話を大事にしながら、全教員が自己の専門性を高め、保育に自信を持って取組めるようアンテナを高くして各自研鑽を積み、専門性を高めている。</p> <p>保育者としての資質向上には、コロナ禍の中で、私立幼稚園振興協会や県教委が行うICTを利用したオンライン研修に積極的に参加するとともに、園内研修機会も増やし、先輩は後輩指導に意を用い、適切な保育活動を進めている。</p>	A	<p>自己評価から、教員それぞれが研鑽を重ね、若手教員へのアドバイスなども適時・適切に行い、全員が相互に補い合いながら、自己の力量向上に努める姿が伺え、危機管理の園内研修等は高く評価したい。</p> <p>さらに、国や県の施策も教員の資質向上を求めており、日々の研鑽を積むと共に、教育課程の充実を目指し、コロナ禍が終息したならば、4年度の富士宮市内幼稚園が実施園となった公開保育など他園との交流・共同研究を通じ、教員全体のさらなる向上を目指して欲しい。</p>
3、保護者への対応	A	<p>教育目標に掲げた保護者や地域との共感し合う教育活動が、本年度も、コロナの影響で一部縮小されたが、夏のフェスタ、秋の運動会や生活発表会は開催され、保護者の協力も十分得られた。</p> <p>保護者との直接対応の面では、保護者面談を施し、情報交換のお便り帳では、写真や絵柄を使う工夫等を行い、家庭との共通理解を実践しているが、各家庭における園児達の様子を情報として得るよう工夫したい。</p> <p>なお、学年の保護者からの要望等は全園での共通の事象として対応していくよう努め成果を挙げている。</p>	A	<p>コロナ感染防止のため制約があったが、バケツ稲づくり、運動会、生活発表会、交通教室など、親子協働作業が円滑に進められ、成果が上がった。</p> <p>また、保護者からの子育てに関する相談(要配慮児)等も多くなっており、子育て支援カウンセラーの来園等を図り、きめ細かな対応ができた点は評価する。</p> <p>特に、保護者とのお便り帳の交換では、写真や絵柄を挿入する等工夫をして、家庭との共通理解を実践された。</p> <p>なお、今後は、子育て支援としての「たまごちゃん教室」の幅広い活用によって、本園を目指す子弟の数を増やしていくことを期待する。</p>
4、地域の自然や社会とのかかわり	C	<p>コロナ感染症が終息した後は「運動会」や「すぎの子フェスタ」などに、以前のように区民の参加を啓発し、園・家庭・地域が一体となった教育を進めたい。</p>	B	<p>本年度の事業報告を伺い、昨年度に引き続き、コロナ感染防止のため学園行事が一部中止、縮小等あったが、今後、園と家庭・地域が一体となっていくことを願っている。</p>

		<p>来年度は既に「地域にある神社の祭典」などへの出演も要請されており、「地区敬老会」への参加、年長児の「茶道教室」など地域の方々と直接的な連携・交流を深め、園児の散策地に地域の神社など入れて行く。</p> <p>また、教員自身が地域の自然や歴史、寺社等の知識を深め、それを素材とした教育活動にも取り入れていくことが地域との関りも深まり、交流に繋がり、園児の地域意識を助長する上からも大切と思う。</p>	<p>特に、年長児の鼓隊演奏が地域との触れ合いに役立ち、園児の人間形成の基礎となるので、中止となっている「市消防フェスティバル」の開催が待たれる。</p> <p>また、カレーづくり・餅つきを始め、さつま芋やバケツ稲を育てる体験学習にも地域の協力と保護者の参加など、親子協働による活動を増やすことを望む。</p> <p>さらに、教員自身が地域の歴史や寺社の由来などの探求を進めていく姿勢があるので専門家の招聘なども、視野に入れ、園児の活動に生かして欲しい。</p>	
5、研修と研究	B	<p>年間を通じ、園全体で、研修テーマ（遊びで変化していくコミュニケーション）を設定し、園内研修を施行し、市私立幼稚園の「研究資料」を提出できたが、各種の県協会主催の研修が中止となった。コロナ禍が収まった状況により、園児一人一人の心のケアに関する研修も課題である。</p> <p>また、他園の良い所を吸収できる市内10園による「公開保育」は実施園として広くアピールできた。一方、近隣幼稚園との園児の交流会等は、コロナ禍のため、計画通り進まなかった。来年度は、小学校との連携や他幼稚園との相互交流研修・公開保育に積極的に挑戦し、さらにオンライン研修へも参画していきたい。</p>	A	<p>本年度の「公開保育」は、実施園として、他園の教員が参観され、相互交流を通じ、教育者としての資質向上に一層努められ、大きな成果だった。</p> <p>昨年度半ばに発生した県内のバス事故などに関しても、日常勤務の中での研修機会を増やし、注意点を教職員間で話合うなど、努力の結果と課題を伺って、今後への期待を高めた。</p> <p>4月より、こども家庭庁も発足し、小学校との幼小連携の機会を創ることが必須となるので、自己評価に掲出の他の幼稚園との共同研究・研修など幼幼連携の推進も併せて進めて頂きたい。</p> <p>コロナ禍が園児たちの心にも影響を与えており、そのアフターケアなどの研修にも挑戦されることを期待する。</p>

4、重点目標等に対する総合的な評価結果

結果	内容・理由等
A	<p>本年度は、当初に新型コロナ感染の学級閉鎖などもあり、園・保護者・地域の皆さんで、感染防止の対策を取りつつ、年間を通じた園全体の保育計画及び月間・週間指導計画の実施には大変だったと思うが、教職員各位が、自己の教育活動や管理運営面でも、日々の園児の生活を通じ、教育活動でも、工夫やアイデアを出し合って園児たちが楽しく学ぶことができたことを評価し、感謝している。</p> <p>特に、園行事の「運動会」や「生活発表会」は、保護者の協力・支援もあり、「カレーづくり体験」は地域の</p>

	<p>団体、「餅つき」は高校生の体験事業としても営まれ、「地域と共に生きる教育の実践」を教育活動として進められたことを評価するとともに、預かり保育や要配慮児への取り組み等の幅広い教育活動に今後も園全体の体制として続けられることを期待する。</p> <p>また、地元の農業(さつま芋・落花生)や製紙業(古紙:リサイクル)などの教育資源を活かした学習や「富士山の日」・「おやこんぼの日」等を活用する生活体験など、園児の豊かな心を育む上でも効果があった教育活動と思う。そのためには、教員自らが行動し、地域(自然、歴史、地形、寺社、祭り等の教育資源)を学ぶ機会を増やし、その素材を園児たちの学びに活用されるよう来年度も要望する。</p> <p>今後、さらに園と家庭(保護者)・地域が連絡を密にし、保護者参観日の内容を充実するなど、よりよい未来の子ども達を育てる環境づくりを期待する。なお、ホームページは、随時見直しを行い、幼稚園を多くの方に理解頂けるよう、内容も一層充実されることを改めて願います。</p>
--	---

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
1、教育計画に基づく地域、保護者と共感し合う教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染者数の減により、来年度からの新たな対応が見えてきており、本園の教育活動も落ち着き、来年度は内容の濃い年間計画を立て、日々の保育を常に振り返り、見つめ直しながら、新しいよりよい学園の諸活動を進めて行く。 ・さらに、子ども子育て法に基づく「施設型給付園」への移行も来年度から施行されることも運営面の大きな節目であり、ここ3年間でできなかった杉田幼稚園から地域への情報発信を増やし、特に、学園の主要行事への地域住民の参加を回覧板やHPによって啓発し、保護者や地域等に杉田幼稚園をアピールするとともに、教員自身も地域の自然、歴史、産業、寺社等を学んで行く。
2、教職員の資質向上を目指した研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領の内容を全教職員が会得し、要配慮児への対応及び地域や保護者との共感し合える新たな課題等をテーマとした教職員の研究体制を充実するとともに、教職員の資質向上に向けた研究・研修体制を強化する。 ・地域の小学校や幼稚園との連携を図り、教職員間の交流や共同研究等を行うとともに、教職員のチームワークの良さを、園活動の中で園児達に示し、伝授していくことで、園児たちが有意義な園生活を送れるように努める。
3、学園の防災・危機管理等の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・「事故を防ぐための危機管理マニュアル」や「コロナ感染防止ガイドライン」を始め、「地震等防災対策マニュアル」を随時に見直すとともに、保護者とその家庭との連携を深め、防災や衛生管理機関等との連絡体制を強化し、的確な避難訓練、情報提供等を実施し、通園バス及び遊具の点検・改善整備も行き、危機管理教育の推進を図り、インフルエンザや新型コロナウイルス等への対応等一層充実する。

学校関係評価者

<p>(参加者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者(杉田幼稚園PTA会長) ・地域住民(地区在住) ・学識経験者(前天間地区生涯学習推進会副会長)

令和4年度 学校法人長橋学園 杉田幼稚園 財務情報公開

1.財務状況

【資金収支計算書】

科目	決算額
収入の部	
学生生徒等納付金収入	28,704,030
手数料収入	32,000
寄付金収入	108,286
補助金収入	30,053,647
資産売却収入	-
不随事業・収益事業収入	7,229,892
受取利息配当金	13,677
雑収入	2,741,490
その他の収入	18,240,916
資金収入調整勘定	△2,650,295
前年度繰越支払資金	14,642,630
収入の部 合計	99,116,273
支出の部	
人件費支出	57,287,753
経費支出	23,156,919
施設関係支出	-
設備関係支出	1,070,000
資産運用支出	15,426,400
その他の支出	1,656,714
資金支出調整勘定	△1,761,322
翌年度繰越支払資金	2,279,809
支出の部 合計	99,116,273

【貸借対照表】

科目	本年度額
資産の部	
固定資産	279,043,687
流動資産	4,930,104
資産の部 合計	283,973,791
負債の部	
固定負債	2,701,988
流動負債	2,932,114
負債の部 合計	5,634,102
基本金の部	
第1号 基本金	372,958,530
第4号 基本金	6,000,000
基本金の部 合計	378,958,530
翌年度繰越収支差額	△100,618,841
純資産の部 合計	278,339,689
負債及び純資産の部 合計	283,973,791

【事業活動収支計算書】

科目		決算額	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金収入	28,704,030
		手数料	32,000
		寄付金	108,286
		経常費等補助金	29,353,647
		付随事業収入	7,229,892
		雑収入	2,741,490
		教育活動収入計	68,169,345
	支出	人件費	57,714,153
		経費	30,440,702
		徴収不能	0
		教育活動支出計	88,154,855
	教育活動収支差額		△ 19,985,510
	収入	受取利息・配当金	13,677
		その他の教育活動外収入	0
借入金等利息		0	
教育活動外収支差額		13,677	
経常収支差額		△ 19,971,833	
教育活動外収支	収入	資産売却差額	0
		その他の特別収入	700,000
		特別収入計	700,000
	支出	資産処分差額	0
		その他の特別支出	16,000
特別支出計		16,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 19,287,833	
基本金組入学合計		△ 104,000	
当年度収支差額		△ 19,391,833	
前年度繰越収支差額		△ 81,227,008	
翌年度繰越収支差額		△ 100,618,841	
事業活動収入計		68,883,022	
事業活動支出計		88,170,855	

【財産目録】

科目	金額
基本財産計	231,385,547
運用財産計	52,588,244
資産の部 合計	283,973,791
固定負債計	2,701,988
流動負債計	2,932,114
負債の部 合計	5,634,102
差引純資産	278,339,689
正味財産の部 合計	283,973,791

令和4年度 事業報告

(学)長橋学園 杉田幼稚園

1、学校法人の実績

昭和54年3月15日に設立以来、44年の歴史を踏まえ、「豊かな人間性の基礎を育み、健康で明るい素直な子どもの育成」と「地域に根ざした幼児教育施設の役割」を果たし、コロナ禍による学級閉鎖や学園行事の中止・縮小等もあったが、少子化という大きな流れの中で、学校法人として、また、地域に役立つ幼稚園として、私学としての安定した経営を行うことができた。

2、就園児の実績

区分	年長(はと)	年中(ひばり)	年少(ひよこ)	満3歳児(もも)	合計
学級数	2	2	1	1	6(園則学級数:9)
園児数(人)	30(卒)	24	22	11	87

<令和5年3月現在>

3、研修の実績

県私立幼稚園振興協会等の外部研修がコロナ禍の影響で、リモート開催や中止等もあったが、市私立幼稚園協会の公開講座、実技研修は完全防止を徹底し開催されたが、当初計画した教職員の資質向上の研修メニュー全体を進めることができなかった。

そのため、重点を園内研修に求め、園児の諸行動への対応・バス事故等の危機管理に関するテーマを決め、教員全体で話し合う機会を設定するとともに、教育活動の教材や活用素材の研究、感染症の安全対策など、多彩な研修方法を教員相互で工夫しながら教員自身が資質向上に勤め、実質的な成果を挙げることができた。

4、教育活動(行事)の状況

4月以来、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、「明るく元気に頑張る子」を園の目標に、① 園児一人一人が、生き生きと活動できる場づくりを実施した。② 家庭、地域社会及び幼稚園が一体となり連携を深め相互に理解し、共感し合える園づくりとしてバケツ稲作体験教室(苗植え、稲刈り、脱穀、もちつきなど規模を縮小し、或いは方法を工夫しながら実施した。また、この一環として「おやこんぼ事業」(振興協会主催)を推進した。③ 運動会、生活発表会と本園の二大学園行事は、日時の変更や使用する会館の衛生管理の徹底・参加保護者の数減等により、園児の出場各種目・出演が無事に終えることができた。④ 小学校への接続が円滑にできるよう園児たち(年長児)の「交通安全教室」を2回に亘って開催し、交通指導員・うさぎさんクラブ員(保護者)の指導で、横断歩道での注意などを学んだ。平成25年度から始まった満3歳児保育も、最終的に11名が就園した。

<令和4年度～コロナウィルス感染症に関する措置>

・園内関係児者の感染による学級閉鎖 <1学級(年中) 6/8～ 6/12 7/12>

＜主要学園行事の実績＞

年 月	行 事	年 月	行 事
令 4 . 4	・入園式、始業式、内科検診	令 4.10	芋ほり(全員)及び稲刈り・脱穀体験(はと組)
// 5	・歯科検診、さつま蔓挿し・落花生、ひまわり種蒔き(はと組:幼々連携)、バケツ稲苗植(はと組:-保護者連携)	// 11	・防災訓練(引渡し)、消防フェスティバル演奏(中止)、生活発表会(家族2名)
// 6	・防災訓練、子育てフェア(中止)、ジャガイモ堀体験(もも組)、カレーづくり火育・食育体験(全員)	// 12	・餅つき体験(保護者不参加、鏡餅作成、高校生体験)、クリスマス-サンタ来園(プレゼント)、黒田幼稚園との幼幼連携(中止)、終業式
// 7	・すぎのこフェスタ、終業式	令 5 . 1	・始業式、繭玉作り(飾り)・正月遊び(凧作り・凧上げ、かるた遊び)
// 8	・夏期保育(流しソーメン:全員、スイカ割)、中学生職場体験受入(中止)、公開保育(実施園)	// 2	交通安全教室、豆まき(園児と教職員で方法工夫)、茶道体験教室(はと組)、保育参観(学年毎)、お店屋さんごっこ、縄跳び
// 9	・始業式、運動会(開始時間遅延・家族の参加減)、防災訓練、落花生堀(年長児)・挽ぎり(全員)、杉田敬老会出演(ひばり組中止)	// 3	・お別れ遠足(年長児:静岡市)、お別れ会、卒園式(家族2名)、終業式

5、施設・設備整備の状況

・園児の安心、安全確保のため、施設、設備の点検を実施するとともに、遊具等点検(年9回)を行った。平成30年度末に設置した「防犯カメラ装置」によって園舎内外の保安に役立っている。本年度の設備整備は、軽自動車購入(2月)・**バス安全装置設置**(取付は繰越)を実施した。

6、管理・運営関係の実績

(1) 預かり保育<保育時間外に加え、夏・冬休み預かり保育を実施> (2) 通園バスの運行・安全対策 (3) 園庭開放事業(子育て支援「たまごちゃん教室」事業<一部中止>) 実施 (4) エコ教育の推進と古紙回収 (5) 教育実習の受け入れ (6) PTA活動(子育てフェア:中止、諸会議:書面議決) (7) 幼児教育無償化(3年目)への対応事務 (8) 新教育要領に基づく教育課程充実 (9) 「杉田幼稚園」ホームページの改良 (10) 私立幼稚園教育研究東海北陸大会への参加<愛知> (11) 学校評価の徹底 (12) **コロナウィルス感染症への対応**(諸学園行事の縮小・変更など~お別れ遠足、入園式、卒園式、園外参加行事、PTA関係会議等) (12) **施設型給付園への移行準備(園則改正・管理運営規程成立、特定教育施設認可申請・認可)**